

L'inque.

International Beauty Federation Member's Magazine

vol. 88

Makeup: Chiaki Kakinuma
Model: Disnella-Click Model Management
Photo: Linda Mason

the 20th IBF makeup photo contest

第20回IBFフォトコンテスト

The 20th IBF Makeup Photo Contest AVANT-GARDE アヴァンギャルド



応募締め切りは11月30日ということで、まだまだ時間に余裕があります。今回のテーマは【Avant-Garde】。前号でもご紹介したとおり、元々はフランス語の軍事用語ですが、「最先端に立つ人」、芸術などの分野では、「革新的な試み」や「実験的なアプローチ」を指す言葉です。



以下にさまざまなジャンルで「アヴァンギャルド」と評される人物のリストを見ることができます。

https://en.wikipedia.org/wiki/List_of_avant-garde_artists

ビジュアルアーティストで有名なところでは、キリコ、ダリ、ゴーギャン、ピカソ、草間彌生、マティス、ミロ、ウォーホルなどが挙げられ、音楽や文筆家、パフォーマンスアーティストなどでたくさんの「アヴァンギャルド」な方々がリストアップされています。彼らの代表作や、なぜ彼らが「アヴァンギャルド」と呼ばれているかを調べるだけでも、今回のコンテストの作品制作の参考になることと思います。



IBFフォトコンテストは今回で20回目を迎えます。今までたくさんの力作をご応募いただきありがとうございました！今回は改めてIBFフォトコンテストにおける審査基準をお伝えします。

まず最重要事項として、写真のクオリティが挙げられます。過去の実績作品を見ていただければわかる通り、受賞した写真は、ほぼ写真スタジオ、あるいはそれに準じる環境で撮影されています。撮影スタジオも複数人数で共同で借りれば、予算も抑えられますし、フォトグラファーもテストシュートなどを気軽に受けていただける方も多いです。まずは環境をしっかりと作り、クオリティを上げることが第一歩かと思います。

以下審査基準です。参考にしてください。

1. 創造性・独創性：テーマ「アヴァンギャルド」の解釈と、既存の枠にとらわれない表現力。
2. メイクアップ技術：色彩、質感、構成など、メイクアップとしての完成度。
3. コンセプト：作品に込められたメッセージやストーリー。

以上です。今回もたくさんのご応募お待ちしております！

P2-3	20th-2025 IBF Photo Contest フォトコンテスト
P4	A Message from Yasuko Kasaki
P5-07	Information
P8	顔の骨格を知る！ リアルスカルセミナー
P9-11	Tokyo Pride 2025 -Same Life Same Right-
P12	MOTOKO来日セミナー
P13	あたらしい学び場
P14-15	ニューヨークランプミュージアム&フラワーガーデン【芸術の花】
P16-17	JOHN CAMERON MITCHELL Midnight Radio -The History of Hedwig-
P18-19	IBF Recommended Exhibition
P20-21	魅力探訪 -よーじや-
P22-23	IBF Beauty Pro shop

CONTENTS CONTENTS CONTENTS CONTENTS

※P14-15,P18-19,P20-21 取材／記事 たなかけいこ

〈第20回IBFメイクアップフォトコンテスト応募要項〉

- 応募資格**：理美容スクール、メイクスクール学生／卒業生
※プロのヘアメイクアーティスト、講師の方の応募はご遠慮ください。
- 作品テーマ**：【Avant-Garde】
「アヴァンギャルド」なメイクアップ作品を作ってください。
- 応募費用**：応募費用（エントリーフィー）が作品1点につき1,000円（税込み）がかかります。応募費用は指定の銀行口座に振込み（手数料はご負担ください）、応募作品提出時に振り込み控えなどをデータで送付いただきます。
※スクール様で一括支払いも可能です。詳しくはお問い合わせください。
- 振込み先**：応募費用の振込み先は下記をお願いします。
三井住友銀行 池袋東口支店（普通）8780470 口座名：IBF
- 応募締切**：2025年11月30日（事務局必着）
- 応募点数**：一人何点でも応募可能ですが、1応募につき1点とします。応募費用は1点1,000円（税込）です。（一般の方）
- 応募作品**：デジタルデータでご応募ください。エントリーフィーの振込控えやエントリーシートもデジタルデータ（写メ）にして応募作品と同時に提出してください。
- 応募方法**：「**ギガファイル便**」をお使いください。
応募写真、エントリーシート、応募費用の振込控えの3点を事前にフォルダにまとめておき、フォルダごとzip圧縮し、ギガファイル便にアップロードして発行された「ダウンロードURL」をIBFまでメールでご連絡ください。
メール送信先：info@ibf.or.jp
メール件名：IBFフォトコンテスト応募
メール本文に上記で発行されたギガファイル便のダウンロードURLを貼り付けてください。
※作品とは別に、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、受講生／卒業生／正会員／一般の区別、作品のタイトル、作品のコンセプトを明記した紙（エントリーシート）を同時にアップロードしてください。
※エントリーシートはこちらからダウンロードできます。
https://www.ibf.or.jp/pdf/20th_entry_contest.pdf
- 審査員**：Linda Mason、Motoko（2021、2022年エミー賞受賞）、
有名化粧品ブランド専属アーティスト、IBF本部講師
- 発表**：2026年2月28日発行Linque誌上で発表します。（グランプリ受賞者には事前に連絡をします）
- 賞品**：グランプリ→メイクアップフォトセッションご招待
副賞：クリスタル記念品、その他Linda Mason賞、Motoko賞、M・A・C賞など
- 注意事項**：
 - ・デジタルデータで応募いただきます。データ形式はJPEGのみです。「.jpg」「.jpeg」に変換してご応募ください。
 - ・生成AIなどを使った作品は審査対象となりません。
 - ・画像処理ソフトによる極端な加工が認められた場合、審査対象から外すことがあります。
 - ・応募作品の返却はできません。
 - ・応募作品はIBF会報誌、ホームページ、その他一般媒体で公開することがあります。
 - ・作品の著作権は撮影者に帰属しますが、作品を上記に使用する権利は主催者が所有し、応募者は、無償でこれを許諾するものとします。被写体の肖像権の問題、または作品に第三者の許諾が必要になる場合などの責任はすべて応募者が負うものとします。
 - ・肖像権その他の権利上の紛争が起きた場合、その費用も含めすべての責任は応募者が負うものとします。
 - ・他のコンテストなどに重複応募した作品は、応募しないでください。各賞の譲渡、転売はできません。



【お問い合わせ】IBF国際美容連盟

〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-25-9 今井ビル5F
TEL：03-5928-3800
E-mail：info@ibf.or.jp

会報誌Linque.の発行形態がPDFメインに変更になって初めてのLinque.です。

さて、昨今よく話題に上る「AI」（artificial intelligence）について、「メイクアップアーティストが使うべきAI」とは？という質問を、ほかならぬ「AI」に投げかけてみました。今回はGeminiからの回答の一部（実際の回答はかなり幅広く長いです）をご紹介します。

—メイクアップアーティストがAIを活用することで、業務効率の向上、顧客満足度の向上、新たなクリエイティブの創出など、様々なメリットが期待できます。具体的にメイクアップアーティストが使うべきAIとしては、以下のようなものがあります。

・バーチャルメイクアップアプリ・シミュレーションツール

顔写真をAIが解析し、様々なメイクアップスタイルやカラーをバーチャルで試すことができる。顔のパーツごとに細かく調整が可能で、ナチュラルメイクから華やかなメイクまで、様々な仕上がりを試せる。

・メイクアップアーティストにとってのメリット

カウンセリングの効率化：顧客が仕上がりがイメージを具体的に確認できるため、ミスマッチを防ぎ、カウンセリング時間を短縮できる。提案の幅の拡大：顧客が普段試さないような色やスタイルも気軽に試してもらい、新たな提案に繋がられる。コミュニケーションの円滑化：「こんな感じ」といった抽象的な要望も、ビジュアルで共有することで理解が深まる。

このように、回答が瞬時に得られ、適切と思われる生成AIアプリまで紹介してくれます。皆さんもぜひ活用してください！

香咲 弥須子 Profile

IBF理事。New York在住スピリチュアルカウンセラー。
NY Downtownにてヒーリングクラス及びカウンセリ
ングセンターを経営。

作家、翻訳家、エッセイストとしても活躍している。

“Life Is Art”

2025年、ニューヨークの6月は、晴れた日が多く、新緑はみずみずしく、まだ暑くはなく、空気は乾いてなんとも言えぬ心地よさに浸される最高の季節なのですが、今年は月初めから酷暑も大雨も。週末は誰もがグッタウェイに殺到し、マンハッタンのレンタカーが全車出払う事態になりました。

暑いから、街中の公園でも虫がたくさん。6月から飛び交う螢なんて、ニューヨーク在40年間近ですが、初めて見ます。

さて。

Life Is Art Is Motherhood Is Art

今、CRSではこのイベントを開催中です。

アーティストであることと、母親（子育て中）であること。

それは、二つとも、もっとも豊かな創造力の放出であるのに間違いないでしょう。この二つを手に行っている女性は、創造の女神の光に包まれ、祝福されているはずです。

一方、この二つを同時に生き抜こうとする時の労苦も並大抵のものではないのです。経済的に余裕があり、夫と共に育児にエネルギーを注げるのであれば、かなり重荷は下ろせるでしょう。シングルマザーならば、自分の親の協力がどれほど得られるかが鍵になるかもしれません。

けれど、個々の事情よりも、そのアーティスト、その母親に影響を与えるのは、彼女たちが居住し仕事する場所、その社会のあり様です。

今回ヴィジュアルアート部門で参加した5名は、ブルガリア、ブラジル、ベトナム、アメリカ、日本の写真家、そして0歳から11歳までの子どもたちのお母さん。

音楽部門で日替わりコンサートを提供してくれるのは、韓国、ハイチ、アメリカ、レバノン、スコットランド、イラン、日本を祖国として持つミュージシャン兼お母さん。

彼女たちは全員、すでに錚々たる受賞歴を持ち、時間、エネルギー、体力をやりくりしてアーティストとしてのキャリアを築いている人ばかりです。約半数がニューヨーク在住、他のメンバーは、わざわざ各国からニューヨークに集まってくれました。

「うまくいっている」「活躍中」「躍進中」のアーティストたちです。でも全員が、闘いの日々明け暮れています。

子どもを育てるといふ生半可ではない大事業に加え、楽にアート界で生き残る人は存在せず、さらに、大きな壁は、アートの世界でも性的マイノリティ、つまり女性であることです。

「子育て中である」というかけがえのない時期、存分にその経験に浸りたいとも願うでしょう。それは、動物的というか、地にしっかりと足のついた状態での、愛の経験でしょう。

でも同時に、自らの生命と愛を、形而上学的、観念的、抽象的に昇華した形で表現したい、という切実な叫びも消せないのですよね。

しかも、会社員ではないのですから、キャリアを守ってくれるものではなく、自分でチャンスを切り開いていかなければならない。

どうしても焦燥感からは逃れられないと口にする彼女たちは、

このイベントのような機会に、コンテストではない、批評を受けるためではない展示通して、仲間と出会い、それぞれのユニークな表現を受けとりあうこと、母親であるという共通項を通して、お互いに労り合えること、などの中で、一人一人の佇まいから、優しい力が発光しているのが目に見えるようでした。

オープニング・パーティには、イスラエル人、ウクライナ人、ロシア人、シリア人、台湾人、中国人も混じっていました。

世界の各地で紛争があり、戦争があり、虐殺があり、政権交代があり、経済地図も塗り替えられ、AIがフェイクニュースを限りなく発信し続け、さらには、AIシステムの国境での分断によって、情報が完全に区分けされるようになりつつある、この時代。何十年も前から警告されていたながら、結局温暖化は防げずに、ついに一国が沈みつつある、この時代。

それぞれの国の国民であることで置かれる状況や立場、制限がある中で、芸術は、その立場から、一気にアイデンティティを引き上げてくれます。国境、国籍のない存在として、自分を受け止めることができます。ただの“創造する人”になるわけです。

創造は、写真や絵画、音楽演奏といった、五感で察知できる“作品”を創り出すことではありません。愛、慈しみ、優しさ、親切の表現はすべて、この世を超えた創造の海に泳ぎ出すことです。それはアートです。その広義の意味において、私たちは全員アーティストです。皆が、表現力のあるアーティストであるべきなのです。

アートは、愛に宿り、個性を使って、姿を表します。アーティストがアートを生み出すのではなく、アートが、アーティストを潜り抜けて登場するのです。

アートが入ってきたら、愛が動き始めたら、その全てを、目の前の人に、その状況に、差し出してしまいたいです。受け取ること、次に、差し出し、つながること、その二段階が、私たちに生きる力を与えてくれるのだと感じます。

クロージングパーティには、オリバー・ストーン監督の映画『天と地』の主人公、レ・リ・ヘイスリップがカリフォルニアから駆けつけてくれました。彼女は、ベトナム戦争時、一族のほとんどを失い、残ったわずかな家族のために、10歳にもならない頃からあらゆることをやって稼ぎ、生き延びました。アメリカに渡ってからは、ベトナム難民としてバッシングを受け、結婚した相手は戦争のトラウマで自死、彼女は「シングルマザーになったついでに」三桁の数の難民孤児を養子にして、働きに働いて、そして80年代に入ってから、帰還兵たちを引き連れて、ベトナムに何度も渡航、小学校、病院、図書館などを建て、ベトナムに多大な貢献をした女性です。

「レ・リ、お金はどうやってやりくりしてきたのですか？」

その質問に、「お金？ どういうこと？」と、彼女の答え。

大きな視野の中には、お金というものはやりくりするものではなく、自然に行き渡るものなのですね。それは、やってみたことのある人でないとわからないことなのかもしれませんが。

Life Is Art Is Motherhood Is Art

■IBF会報誌「Linque.」は、今号からPDF版になりました。

会報誌Linque.のIBF会員様への公開URLについてご確認ください。

・IBF会員の方：「会報誌リンク購読ページ」から、フルバージョンを購読できます。URLは「Linque.87（2025年2月発行）」に掲載されているほか、IBFからメールでもお知らせします。URLがご不明な場合は、IBFまでメールでお問い合わせください。
また、会報誌発行のお知らせなどは原則メールで送信させていただきますのでIBFからのメールを確実に受信できるように必要な方は以下から会員情報の再登録をお願いいたします。

■IBF会員情報再登録のお願い

IBF正会員の方、NYMA受講生の方で、IBFからメールマガジン（月間1～2通配信）が届いていない方は正しいメールアドレスが登録されていません。IBFでは、重要事項も含めて、メールでお知らせする方法に切り替えておりますので、IBF会員の皆様には正しいメールアドレスの登録、再登録をお願いしております。大変お手数ですが、該当者（IBFからメールマガジンが届いていない方）は以下のフォームよりメールアドレス登録の更新をお願いいたします。

《メールアドレス登録（再登録）フォーム》https://www.ibf.or.jp/update_mail_address/

※アップル社ドメイン「icloud.com」をお使いの方へ

アップル社のセキュリティの都合でメールマガジンなどが届きにくい現象が続いています。「icloud」以外のメールアドレスまたはGmail.comなどフリーのメールアドレスを取得してそちらのアドレスで再登録していただきますようお願いいたします。



登録フォーム

■N-001 【オンライン】メイクアップ講座オンラインスクーリング

Zoomを使ったオンラインスクーリング。講師と一緒にベースメイクから始めてフルメイクまでレッスンします。認定試験重要課題のうち今回は「シャープメイク」をテーマに、セルフメイクで行います。講師によるチェック&アドバイス、質疑応答もできます。講師と実際に対話しながら進みますので、レッスン上の不安解消、疑問点の解消に、ぜひご参加ください。カメラ/マイク付きのPCまたはスマートフォン、タブレット端末とWi-Fiなどネット環境があればどこからでも参加可能です。

開催日時：

2025年9月26日（金）10:00～12:00 シャープメイク

※120分（質疑応答含む）

※参加時必要なもの、参加方法など詳細はお申込みの方にお知らせします。

※カメラマイク付きPCまたはスマートフォン、タブレットなどと常時接続可能な回線環境。

※セルフメイクで行います。メイクを落とした状態で参加してください。

定 員：各回6名まで

参 加 費：1回3,850円（税込）

申 込：IBFビューティプロショップでチケットを購入してください。



■N-002 【会場開催】メイクアップ講座スクーリング

今回は東京会場で行います。「シャープメイク」のレッスンをを行います。講師から直接指導を受けられるので、在宅でのレッスンに不安がある方にもオススメです。ベースメイク・アイメイク・リップ・チークの各パーツをテーマに沿ってレッスンします。各参加者のレベルに合わせた指導が可能ですので、レッスンを始めたばかりの方もご参加いただけます。

※ホームスタジオコース受講中の方は、どなたでも参加いただけます。

申込受付期間：～開催日の2週間前まで受付。

※最少催行人数3名。定員になり次第締め切ります。

開催予定地・日程：東京2025年9月19日（金）13:00～17:30

定 員：6名

参 加 費：7,150円（税込）

参加資格：直轄校NYMAホームスタジオコース受講生のみ。

※申込者が3名に満たない場合は開催中止となりますのでご了承ください。

※男性受講生は女性モデルを同伴してください。（必須）

持 参 物：N.Y.Make-up Academyオリジナルテキスト・筆記用具・レッスン用化粧品一式・コットン・ティッシュ・綿棒等。

※参加申込者には改めて詳細をお送りします。

申 込：IBFビューティプロショップでチケットを購入してください。



◆◆◆スクーリングのお申込みはIBFビューティプロショップからチケットをご購入ください。◆◆◆

<https://www.ibf-shop.com/view/category/ct7>

IBFビューティプロショップ



■スクーリングのお問い合わせ

NYMA指導部 TEL：03-5928-0130（受付時間／平日9:30～18:00）customer@nyma.jp

■IBF国際美容連盟認定 第91回 国際メイクアップアーティスト試験
第60回国際メイクアップアーティストインストラクター資格認定試験のご案内

2025年10月受験 在宅試験実施要項

受験資格：2025年9月30現在、IBFが指定する各スクール所定のカリキュラムを修了し、修了証書を有している者。

願書配布：2025年9月1日から配布。受験対象者にはスクール指導部から送付します。お手元に届かない場合はIBFへ直接請求してください。

受験料：国際メイクアップアーティスト11,000円（税込）
インストラクター16,500円（税込）

受験料振込先：三井住友銀行 池袋東口支店 普通預金 8780470
口座名：IBF代表坂入洋平

振込期間：2025年9月29日（月）まで

願書提出期限：2025年9月29日（月）〈当日消印有効〉

願書提出先：〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-25-9 今井ビル5F
国際美容連盟 試験審査委員会 宛

試験問題発送日：2025年10月14日（火）

解答用紙の提出期限：2025年11月3日（月）〈当日消印有効〉

試験科目：実技／筆記（実技試験にはモデルが必要になります）

合否発表：2025年11月25日（火）（郵送予定）

登録期間：合否通知到着後～2025年12月15日（月）

※合格後の手続きになります。

登録料及び年会費：

国際メイクアップアーティスト：登録料…33,000円（税込）

年会費…13,200円（税込）

インストラクター：登録料…16,500円（税込）

年会費…13,200円（税込）

※既にIBF正会員の方は年会費を重複していただくことはありません。

認定証発送：2026年1月6日（火）予定

願書請求・お問合せ先：IBF国際美容連盟 03-5928-3800（代）
（受付時間／平日9:30～18:00）

■IB-001 【会場開催】顔の骨格を知る！リアルスカルメイクアップセミナー

久しぶりに会場開催で実施する「スカルメイクセミナー」。セルフメイクでエアブラシを使用した仕上げまで行います。ハロウィンにも使えるワンランク上の「リアルスカル」にトライします。このセミナーでは、単にスカルの描き方を学ぶだけではありません。顔の骨格を理解し、なぜそこに影が必要なのか？どこにハイライトを入れるべきなのか？を考えます。骨格を知るとは、普段のビューティメイクのスキルアップにもダイレクトにつながりますね。平面的な顔に驚くほどの立体感と奥行きを生み出す、繊細な描写でリアルを追求します。リアルなスカルを再現するための観察力と描写力を養い、細部にわたり表現力を磨きます。スカルメイクは、特殊メイクの枠を超え、メイクアップ技術のスキルを高める重要なステップです。ぜひご参加ください。

日程：2025年10月5日（日）13:00～17:00

費用：IBF正会員 10,000円 受講生11,000円
一般14,000円（税込）

講師：八幡裕美子（特殊造形アーティスト／メイクアップアーティスト）

申込：IBFビューティプロショップでチケットをご購入ください。

【講師プロフィール】

特殊メイクスタジオ“atelier-allure”アシスタント、独学の修行を経て、映画・CM・スチール分野の特殊メイク、特殊造形及びアートディレクション他、ボディペイント、メヘンディアートの制作、ワークショップ主催、各種イベント関連のアドバイザーと幅広く活動している。近年は特殊造形を中心に活動中。




▶ Yumiko Yahata
特殊造形アーティスト/メイクアップアーティスト

10/5sun 13:00-17:00
東京池袋セミナールーム

**顔の骨格を知る！
リアルスカルメイクアップセミナー**
エアブラシで仕上げる超リアルなスカルメイクを体験！

◆◆◆セミナーのお申込みはIBFビューティプロショップからチケットをご購入ください。◆◆◆

<https://www.ibf-shop.com/view/category/ct7>



IBFビューティプロショップ

■年会費口座振替のご案内

【重要】IBF国際メイクアップアーティスト正会員年会費の口座振替の事前ご案内（郵送）は控えさせていただいておりますのでご了承ください。IBFの年会費13,200円は毎年1回、会員登録時にご提出いただいた口座振替依頼書記載のご指定口座からIBFが指定した月（5月／8月／11月／2月のいずれか1回）に自動振替させていただいております。指定月の27日（27日が金融機関休業日の場合は翌営業日）に振替させていただきますので、前日までに口座残高の確認をお願いします。

※今回は正会員番号の上7桁が1000011又は上4桁が1011の方が対象となります。振替日は2025/11/27(木)になりますので11/26(水)迄に残高確認をお願いします。

※振替完了通知は行っておりませんので予めご了承ください。

■IBF国際美容連盟のオフィシャルSNS等のご案内

お得なキャンペーン、セミナー告知など様々な情報をいち早く配信しています。ぜひフォローして最新情報をチェックしてください！



【Instagram】
IBF : ibf_insta
NYMA : nyma_make



【X】
IBF : ibf_japan
NYMA : nyma_make



【Facebook】
IBF : ibfjapan
NYMA : nymamake



【LINE】
@nyma



【BLOG】
<http://ameblo.jp/nyma-make/>



■求人情報

求人情報をIBF国際美容連盟ホームページで公開しております。

URL <https://www.ibf.or.jp/recruit/>

より多くの求人情報を公開できるよう、求人企業様との窓口を変更し、随時公開しています。現在までに公開した求人情報提供企業様の一例です。（現在募集終了しているものもありますのでウェブサイトでご確認ください。）

（順不同）M・A・C／BOBBI BROWN／エスティローダー／RMK／ADDICTION／JILLSTUART／ポール＆ジョーボーテ／shu uemura／ランコム／そごう・西武／高島屋／三越伊勢丹／ファンケル／オルビス／ちふれ化粧品／アトリエはるか／ケサランバサラン／カバーマーク／Dior／ジバンシイ／THE BODY SHOP

※求人情報一覧にはパスワード入力が必要な情報も含まれますので、以下のID及びパスワードを入力の上、ご覧ください。



IBF求人情報

ユーザー ID : user パスワード : ibfjob

10月に開催される「顔の骨格を知る！ リアルスカルメイクアップセミナー」。
スカル（ガイコツ）メイクは、多くの美容学校、メイクスクールで取り上げられる重要なテーマ。IBFでも定期的にワークショップ、オンライン講座などを開催してきました。メイクアップをする上で「骨格」を意識することはとても重要ですが、頬骨の位置や形、顎の骨の構成など、詳細な知識を持っている方は少ないはず。
おおまかに骨の位置や形を推測してメイクアップをするのと、実際の骨格を熟知してメイクアップをするのでは、大きく仕上がりが違ってきます。
ここでは2019年に行った、八幡裕美子講師によるリアルスカルメイクセミナーのレポートを再掲します。10月のセミナー、ぜひご参加ください！



特殊造形アーティストである八幡裕美子講師による「Skull（ガイコツ）メイク」セミナー。
エアブラシで仕上げるハイクオリティなスカルメイクにトライしました。
特殊メイクの材料学や、頭蓋骨の男女差・構造といった骨学の基礎を学びんだあと、ハンズオンに入ります。ライン取りと塗りつぶしで下書きを行った時点ではまだ可愛い印象でした。その後、陰影を加えていく作業でリアル感を出していきます。最後にエアブラシを使って、普通のメイクブラシでは出しにくい美しいグラデーションを出していきます。エアブラシを使えば驚くほどの短時間で表現できることが実感されたことでしょうか。参加者から「おおっ！」と感嘆の声が上がるほどの仕上がりととなりました。手作業による陰影とエアブラシのグラデーションの融合により、「このままハロウィンに繰り出せそう」なほどのリアルなガイコツメイクが完成しました。
授業後には、八幡講師もノリノリで写真撮影タイムが設けられました。



2025年10月のセミナー詳細、お申し込みはこちらへ
<https://ibf-shop.com/view/category/ct7>



TOKYO PRIDE 2025

「SAME LIFE, SAME RIGHTS」



今年もIBF ProチームがFace & Bodyペイントで参加させていただきました！

昨年までTokyo Rainbow Prideとして毎年4月に開催されていたイベントが今年は大きくリニューアル。Pride Monthと呼ばれる6月開催に変更。イベント名称も「Tokyo Pride」に変更。

テーマは「Same Life, Same Rights」。「同じ権利がすべての命に」という意味を含め、プライドパレードの原点である性的マイノリティの権利回復への思いを立ち返し、すべての命が平等な権利を持つべきだという強いメッセージを発信するイベントになりました。東京の代々木公園で6月7日（土）8日（日）の二日間行われたイベントには過去最高の273,000人（延べ）が来場。日曜日に行われたプライドパレードには15,000人が参加し、渋谷の街を大行進。大いに盛り上がった二日間でした！



IBFが参加したのは、ギリアド・サイエンシズ株式会社様のブース。来場者でアンケートなどにご協力いただいた方にレインボーカラーのボディペイントをするという流れ。顔や首、腕や足にハート、蝶、文字などインパクトのあるデザインのペイントをしています。来場者はまさに「多様性」に富んでおり、外国人の方、親子連れ、イベントを毎回楽しみにしているというLGBTQ当事者の方、他のブーススタッフなどなど。1日目開場時間になるとすぐに行列ができはじめ、2日目終了までずっと途切れることなく行列ができているという大盛況。3名のペイントチームもほぼフル回転で頑張っていました！



代々木公園野外ステージ（Pride Stage）では、さまざまな方がパフォーマンスを披露。

一日目のステージは公募によって選ばれた才能溢れる5組のアーティストが登場。女性同士でペアを組む社交ダンスサークル・ラディーナやマイノリティパフォーマー集団のまぜこぜ一座のステージには東ちづるさんも登場、最後に個性の光るファッションに身をつつみダンサーを引き連れて登壇したのはAisho Nakajimaさん。中毒性のあるビート、力強くセクシーな歌声で新曲「I Kissed a Boy」を含む全6曲を披露。



二日目は、日本を拠点に活動する総合芸術音楽家の清水舞手さん、性別やジャンルの壁を歌とドレスであざやかに飛び越えるKayaさんが、それぞれパフォーマンスで観客を魅了し会場の熱は最高潮に。続いて登場したのは、マドンナをはじめとした、国内外多数アーティストの振付師、ダンサーとして活動するAya Satoさん。観るひとを惹きつけるビジュアルと、チームの息のあった動きで来場者の視線を釘付けにしました。



さてここで、Prideイベントに参加したことが無い方、イベントについてよく知らないという方のために、今回はPrideイベント、日本国内での活動などについてご紹介します。

LGBTQの運動は、性的指向や性自認に基づく差別の撤廃と権利の獲得を目的として、世界各地で展開されてきました。その象徴的な始まりとされるのが、1969年にアメリカ・ニューヨークの「ストーンウォール・イン」で起きた「ストーンウォールの反乱」です。これは警察によるLGBTQコミュニティへの弾圧に対する抗議行動であり、現代のLGBTQ権利運動の出発点とされています。

この事件を契機に、世界各地でLGBTQの権利を求める運動が活発化し、1970年には最初の「プライドパレード」がニューヨークで開催されました。以降、プライドパレードは毎年6月（プライド月間）を中心に、世界中で行われるようになり、LGBTQの可視化や社会的理解の促進に大きく貢献しています。これらのイベントでは、象徴として「レインボーフラッグ」が用いられ、多様性と誇りの象徴とされています。

日本でも1990年代からLGBTQの権利を訴える動きが本格化し、2012年からは東京で「東京レインボープライド」が開催されています。このイベントは年々規模を拡大し、国内外から多くの参加者を集め、企業や自治体も支援するようになっていきました。同性パートナーシップ証明制度の導入や、教育現場での啓発活動など、日本でも少しずつ社会的理解が進んできました。



NYのWest Village公園にはモニュメントが



現在の“聖地” Stone wall in

しかしながら、世界的に見ても、差別や偏見、法的な不平等は今なお存在しています。多くの国で同性婚が合法化されている一方で、同性愛が刑罰の対象とされる国もあります。日本においても、同性婚の合法化は未実現であり、法整備の遅れが指摘されています。

LGBTQ運動は、ストーンウォールの精神を継承しながら、差別のない社会の実現に向けて、世界中で今もなお進行中の人権運動です。

いかがですか？ プライド運動は差別と闘うというとてもシリアスな運動ですが、プライドパレードやイベントなどに参加する方は、ポジティブに明るくイベントを楽しんでいます。日本でもこの問題に限らず様々な差別に対する意識がもっともっと高まるとよいですね。

ヘアスタイリング講座プロコース



NYMAのヘアスタイリング講座プロコースのフォトシュート授業が行われました。今回は一人の生徒さんにフォーカスして授業の様子と作品をご紹介します。

NYMAのヘアスタイリングプロコースは、なにより現場対応力を重視したコースで、既に何度も現場に出ている生徒さんも多く、「もっと上手になりたい」「短時間でセットできるようにしたい」「応用力を身に着けたい」という動機で参加されます。ご紹介する生徒さんもそんな中の一人。

フォトシュートの授業は、教室に簡易的にフォトスタジオをセッティングしてプロのフォトグラファーが撮影します。午前中は講師と一緒に、撮影イメージを決めていながらヘアアレンジの練習をします。どのように見せたいか、写真のアングルなども含めて入念に準備をします。

今回の作品は和装ヘアメイクで、着物も生徒さんが持参されたものを使用。ヘアは授業で習得したテクニックを応用して仕上げていきます。写真ではサイドやバックからのアングルも。和装に合わせるヘアアレンジはビシッと隙の無いものから、緩やかでエアーなまでのさまざまですが、モデルさんの雰囲気にもマッチした素敵な仕上がりになっていますね。



MOTOKO来日セミナー “MOTOKO流ビューティメイクアップセミナー”



エミー賞（デイトタイムエミー）のメイクアップ部門2021、2022年と2年連続受賞したハリウッドで活躍中のメイクアップアーティストMOTOKOが今年も来日！1日限りのセミナーを開催しました！

今回のテーマはズバリ「ビューティメイクアップ」MOTOKOが最も得意とする分野です。
人をより魅力的に、より美しくするというメイクアップの原点。
コントゥアリング、ベースメイク、アイブロウ、アイメイク、チーク、リップと各工程ごとに、MOTOKO流と呼べるこだわりがあり、そのテクニックを参加者の皆さんとシェアするセミナーです。



MOTOKOがセミナーを企画する段階でいつも口にするのは「もっと皆さんにしっかり伝えたい」「一人一人に丁寧に指導したい」ということ。説明するだけのセミナー、デモを見せるだけのセミナーはどうしても一方通行になりがちで、講師側のある意味「自己満足」に近いものになる傾向があります。

そうではなく、参加者全員に対して、丁寧にMOTOKOの考えるメイクを伝えたい。今回のセミナーは、そのようなMOTOKOの想いを汲ませていただき、一人ずつMOTOKO流のメイクアップをお伝えすることにフォーカスしました。

参加者の方全員に「MOTOKOならこうする」というメイクアップ方法をお伝えし、そのメイクアップを皆さんがセルフメイクで実践するという流れ。
限りある時間の中でしたが、参加者それぞれのメイクの悩みやコンプレックスを聞きながらマンツーマンでMOTOKOから提案を受けることができ、とても実り多い時間を過ごせたことでしょう。

【講師プロフィール】

ハリウッドセレブを中心に、映画・テレビ・広告などで幅広く活動続けるメイクアップアーティスト。過去には、マライア・キャリーのプライベート時のメイクを6年間担当、チャン・ツイーとはアカデミー賞・ゴールデングローブ賞のレッドカーペットを筆頭に様々な仕事を共にする。アン・ハサウェイとは日本の「プラダを着た悪魔」のプレスで仕事をし、ほかにも多くの黒人女優のメイクを担当する。
2020年にはGuild Awardsを受賞。2021年、2022年とエミー賞メイクアップ部門連続受賞。IBFでは毎年特別セミナー、特別授業の講師を担当。





あたらしい学び場は、アロマセラピー、クレイセラピー、リフレクソロジー、発酵料理、薬膳料理、フラワーアレンジ、メイクアップ、コミュニケーション術、チャイルドケアなど「癒し・食と健康・美容・芸術」などの分野で、資格者を育成する9つの協会団体が集まったオンラインスクールです。



<https://atarasee-manabiba.com/>

※IBF会員（国際メイクアップアーティスト会員）様は、月額2,980円の利用料が無料になります！（IDとパスワードは個別にメールでお知らせしてありますが、ご自分のID、パスワードがわからない方はお手数ですが、IBFまでお問合せください）。

～あなたの知識欲を満たします～ あたらしい学び場でできる3つのこと

1 ZoomLIVE セミナーを定期開催します！

さまざまな分野の講師と、直接コミュニケーションがとれる LIVE セミナーを定期的で開催いたします。常時100本以上のセミナー動画を視聴できます！

あたらしい学び場の会員ページでは、人生の質を向上する、オンラインセミナーのアーカイブ動画を見放題で配信しています。毎月新作も追加していきますので、皆さまの「知識欲を満たす情報の宝庫」としてご活用いただけます。

2 【毎月10日25日】あたらしい学び場のコミュニティーメルマガを月2回配信！

あたらしい学び場で配信されている動画のご紹介や、LIVE セミナーの開催情報、あたらしい学び場講師のコラム、各協会の活躍者インタビューなど、読み物コンテンツとしてメールマガジンでお届けいたします。あたらしい学び場に興味はあるけど、中身をもう少し知ってから入会したいと検討されている方は、ぜひ無料メールマガジンからお楽しみください。

3 【あたらしい学び場 × TikTok 配信スタート！】

ついに「あたらしい学び場」がTikTokに登場しました！

会員限定で配信している充実の動画セミナーを、1分間のダイジェストでご紹介。講師の魅力や学びのエッセンスをサクッと体験できるショート動画が続々公開中です🌟

忙しくてフル視聴が難しい方も、まずはTikTokで内容をチェックしてみてください。さらに、新着動画の情報もTikTokで随時更新！フォローしておけば、最新コンテンツの見逃しも防げます。あたらしい学び場の世界観が、より身近でわかりやすくなるTikTokチャンネル。

ぜひこの機会に登録して、あなたにぴったりの学びを見つけてください。



https://www.tiktok.com/@atarasee_manabiba

ニューヨークランプミュージアム＆フラワーガーデン



館内へ入る…そこはまるでおとぎ話の中に迷い込んだかのような幻想的な空間が広がっていた。それぞれのランプがやさしく灯っている様子は他にはない宝石の数々を見ているような感覚に陥った。

今回の取材はニューヨークランプミュージアム＆フラワーガーデンのスタッフであり、学芸員の植野理恵さんが一緒に歩いて作品の魅力を伝えてくれるといった贅沢な流れとなった。ありがたい。

伊豆高原駅からバスにゆられて約9分。終点となる伊豆海洋公園で下車をする。

そこにあるのは“ニューヨークランプミュージアム＆フラワーガーデン”だ。

取材当日は台風接近という予報もあり、天候悪化は覚悟のもと現地へと向かったのである。伊豆高原駅では時おりパラパラと雨が降っていたが、ミュージアム前に到着した頃には晴れ間が見えてきた。おお～、これぞ自称「晴れ女」だわ！ と思いながら門をくぐった。目の前には大きな空と青々とした海。太陽の光がふりそそいでくると最高に美しい景色が出迎えてくれた。



こちらでは本館・別館（カフェ内）に合わせて約80点のティファニーランプなどが展示されている。これだけの数のアンティークティファニー作品を一度にみることができるのは、この場所が日本で唯一との事だ。これまた貴重である。

まず、紹介したいのが“Oyster Bay オイスター・ベイの風景”だ。海と藤の花が涼しげな印象をもたらすパネルである。暑さが増してくるこの季節、見ただけでクールダウンできる色の組合せに吸い込まれそうになる。実はこの作品、2つのパターンが存在している。「オイスター・ベイの風景 朝日」「オイスター・ベイの風景 夕陽」という題で対となるように展示がされているのである。



オイスター・ベイの風景 朝日

2つの作品を比較しながら見ていくと朝の光の入り方と夕方の雰囲気があるで異なることに気がついていく。

数多く展示されているランプ、ガラス部分は“シェード”台座部分は“ベース”という名称がついている。シェードは花や昆虫などがデザインされているものが多く、ベース部分は葉や蔓をイメージしたものなどもあり、全体を見ると非常に繊細であり、職人の細部へのこだわりも強く感じられる。



オイスター・ベイの風景 夕陽



Cobweb（蜘蛛の巣）

高級な赤いガラスには金が混ぜられているという。赤の色を作るのに金が使われるというのには驚いた。



Red Lotus (赤い蓮)

そんな中、「赤い蓮」という作品の前で足がとまった。こちらはティファニー・スタジオの最も高価なモデルとして有名なものだという。1997年、世界的に知られるオークションハウス クリスティーズに出品され、\$2,807,500（当時の為替レート円換算約3億4千万円）で落札されたということだ。

シェードの上部分はガラスが無く、そこからいくつかの花のつぼみをあしらった灯りが見えてくる。ベース部分の上に青緑色のモザイクガラスが貼りつけてあるのだ。美しい。

また現在、第1回目となる企画展「芸術の花」が開催中だ。19世紀末～20世紀初頭に人気となった代表的なガラス作家であるエミール・ガレやドーム兄弟の作品28点が展示されている。植物をモチーフとした花瓶や皿などアール・ヌーヴォー時代の名作を間近で見ることが可能なのである。



ドーム「スマイレ文栓付き瓶」



ガレ「あざみ文レモネードセット」



ガレ「蘭文エナメル彩水差し」



ドーム「マーガレット文花瓶」

作品の中に表現された花々の美しさを感じながら、ミュージアムの外へ出ると季節の花々が咲き誇るガーデンが広がっているのだ。

ゆったりと美を感じる時間。素敵である。

NEW YORK LAMP MUSEUM & FLOWER GARDEN

ニューヨークランプミュージアム
& フラワーガーデン

第1回企画展
芸術の花

2025.6/28 (sat)
~10/5 (sun)

NEW YORK LAMP MUSEUM & FLOWER GARDEN

静岡県伊東市富戸841-1

営業時間：9:30～17:00 ※季節により変動あり

入園料金：大人平日1,500円など

<https://nylfmuseum.com/>





2017年以来約8年ぶりとなるJohn Cameron Mitchellの来日公演は「Midnight Radio -The History of Hedwig-」と題し、伝説のミュージカル「Hedwig and the Angry Inch」のビハインドストーリーや誕生秘話を交えながら、同ミュージカルの全曲をバンドスタイルで演奏するというもの。

ステージでは、このミュージカルを共に創り上げたStephen Traskとの運命的な出会い、NYのDrag club「Squeeze box」で初披露した「The Origin of Love」。Johnの恋人「愛すべき酒飲み」Jack Steebとの別れ、ミュージカルや映画では使われなかった美しく悲しい名曲「Milford Lake」。

さらにJohn自身の生い立ちや家族の話なども。

永年のファンの方も、今回初めて観るという方も十分楽しめるステージでした。



ミュージカル「Hedwig and the Angry Inch」は1998年からオフ・ブロードウェイで上演され、ロングランを記録。MadonnaやCindy Lauper、David Bowieなどが観劇に訪れ、クチコミで人気沸騰。2001年にはジョン・キャメロン・ミッチェル自身が映画化し、サンダンス映画祭観客賞、監督賞など数々の賞を受賞するなど、舞台・映画共に世界中に一大ブームを巻き起こしました。

更に、2014年にはリバイバル作品としてブロードウェイに進出し、トニー賞4部門という快挙を達成。2015年の公演ではミッチェルがトニー賞名誉賞も受賞しています。

このミュージカルの素晴らしいところはなんと言ってもStephen Traskの作詞作曲による楽曲の秀逸さ。



作品の象徴ともいえる「The Origin of Love」はプラトンの「饗宴」をもとに、太古の神話に基づく「愛の起源」を歌い上げるドラマティックな一曲。今回のステージのタイトルにもなっている「Midnight Radio」は、「変わり者のロックンローラーたち」に「あなたたちは正しい!」「両手を上げろ!」と鼓舞するミュージカルのハイライト。

他にも美しいメロディが光る「Wicked Little Town」「The Long Grift」、ポップでキュートな「Wig in a Box」疾走するロックナンバー「Tear Me Down」「Angry Inch」...

すべての楽曲がHedwigの魂の叫び、嘆き、絶望、そして勇気を見事に表現しています。



このストーリーをご存じない方のためにHedwig and the Angry Inchのあらすじをご紹介します。

★★★

愛と自由を手に入れるため受けた性転換手術、しかしその手術は失敗し、股間に「アングリーインチ（怒りの1インチ）」が残ってしまった、男でもあり女でもあると同時にそのどちらでもないロックシンガー、ヘドウィグ。

幾多の出会いと別れを経験し、傷つき倒れそうになりながらも己の存在理由を問い続け、「愛」を叫び求める物語。

少年ハンセルは、自由の国アメリカに渡りロックスターになるのが夢だった。

彼は共産主義体制の旧東ドイツで生まれる。幼少時に母親からプラトンの魅惑的な「愛の起源」の物語を聞かされ、以来、彼は自分の“カタワレ”を見つけようと心に決める。

ある日、彼は偶然同性愛者のアメリカ軍人ルーサーと出逢う。ルーサーに見初められ、彼との結婚の道を選んだハンセルに待ち構えていたのは、アメリカへ渡するための“性転換手術”だった。しかし、手術を受けたハンセルの股間には、手術ミスで「怒りの1インチ（アングリーインチ）」が残ってしまう。



その後、戸籍を女性に変え、ヘドウィグを名乗り渡米を果すも離婚。ベビーシッターなどをして日々の糧を得つつロックバンドを組むも、なかなか成功への道が見えず生活に追われていた毎日だった。やがてロックスターに憧れる17歳の少年トミーに出会い、愛情を注ぐようになるヘドウィグだったが、トミーはヘドウィグの曲を盗んでビルボードNo.1のロックスターに上り詰める。最愛の人に裏切られたヘドウィグは自らのバンド「アングリーインチ」を率いて、ストーカーのようにトミーの全米コンサート会場を追い、スタジアム脇の冴えない会場で巡業する。果たして、自分の魂である歌を取り戻し、探し求めていた“カタワレ（＝愛）”を見つかることができるのか…？



※すべてのステージ写真 池上夢真（GEKKO）／濱家幸江

最後にメイクアップについて。Hedwig and the Angry Inchのメイクアップを担当しているのは初期のオフブロードウェイ時代からずっとMike Potterというヘア&メイクアップアーティスト。



使っている化粧品はすべてM・A・Cで、M・A・Cはミュージカルのオフィシャルスポンサーにもなっています。

<https://www.onmakeupmagazine.com/fall2017/fall-2014/on-stage-hedwig-and-the-angry-inch-mike-potter/>

こちらのインタビューではHedwigで使用したM・A・Cのプロダクトを型番や色など細かく解説していますのでよろしければご覧ください。

【オルセー美術館所蔵 印象派—室内をめぐる物語—】

この秋、国立西洋美術館で開催予定である。

「印象派の殿堂」ともいわれるパリ・オルセー美術館に所蔵されている約70点の作品と国内外に存在する重要作品を加え、約100点が展示される。この規模でのオルセー美術館の印象派コレクションはおよそ10年ぶりとなる。まさに貴重な機会だ。

本展は“室内の肖像”“日常の情景”“室内の外光と自然”“印象派の装飾”といった4つの章から組み立てられている。



ピエール＝オーギュスト・ルノワール
《ピアノを弾く少女たち》
1892年 油彩／カンヴァス
116×90cm オルセー美術館、パリ
©GrandPalaisRmn (musée d'Orsay) /
Hervé Lewandowski / distributed
by AMF



ポール・マテ《室内の子どもと女性》
1890年頃 油彩／カンヴァス
48.5×38cm オルセー美術館、パリ
©GrandPalaisRmn (musée d'Orsay) /
Hervé Lewandowski /
distributed by AMF

第1章「室内の肖像」では日常的な環境の中に人物を描き、その人となりや社会的な属性を表現するといった当時の印象派の試みが残されている。



エドゥアール・マネ《ピアノを弾くマネ夫人》
1868年 油彩／カンヴァス 38.5×46.5cm
オルセー美術館、パリ
©GrandPalaisRmn (musée d'Orsay) /
Tony Querrec / distributed by AMF

たとえば、人物の着ている衣装や室内に配置されている上質な家具など細部まで注目することによりその背景が見えてくるのである。



アルベール・バルトロメ《温室の中で》
1881年頃 油彩／カンヴァス 235×145cm
オルセー美術館、パリ
©GrandPalaisRmn (musée d'Orsay) /
Hervé Lewandowski / distributed by AMF



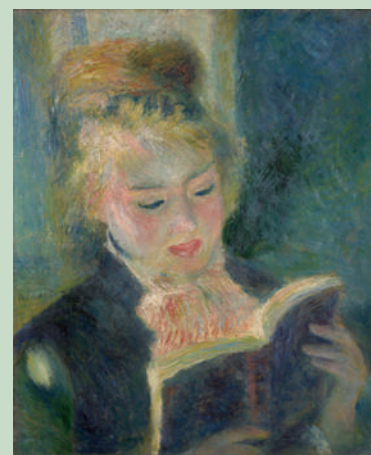
クロード・モネ《七面鳥》
1877年 油彩／カンヴァス 174×172.5cm
オルセー美術館、パリ
©GrandPalaisRmn (musée d'Orsay) /
Hervé Lewandowski / distributed by AMF

「日常の情景」をテーマとした第2章では、読書、針仕事、家族や仲間内での演奏会など家庭での楽しみや休息を描いた作品が展示されている。リラックスした表情やソファにゆったりと横たわる日常の時間が感じられる。

第3章では画家たちがバルコニーやテラスといった室内と戸外の間を絵画の舞台に選ぶという「室内の外光と自然」をテーマとした作品が集められている。中でもガラス温室は人気を得て、実際にブルジョアたちの屋敷に設置されるようになったほどだそう。絵画以外に、アルベール・バルトロメ《温室の中で》に描かれたドレスやエミール・ガレの花挿：湖水風景なども展示される。

最終章のテーマは「印象派の装飾」。19世紀後半には室内装飾に関する画家たちの関心が高まっていき、壁面装飾という形で新たな芸術の形を生みだしていった。

生活に彩りを与える装飾画の制作や室内装飾用のオブジェを手掛ける者も出てきたという。室内装飾を通じて自然と室内は連動しあうようになっていったのである。



ピエール＝オーギュスト・ルノワール《読書する少女》
1874-1876年 油彩／カンヴァス 46.5×38.5cm
オルセー美術館、パリ
©GrandPalaisRmn (musée d'Orsay) /
Adrien Didierjean / distributed by AMF

展覧会名：オルセー美術館所蔵 印象派—室内をめぐる物語

会 期：2025年10月25日(土)～2026年2月15日(日)

会 場：国立西洋美術館

開館時間：9:30～17:30 (金・土曜日は20:00まで) ※入館は閉館の30分前まで

<https://www.orsay2025.jp/>



【時代のプリズム】

クローズアップしているのは1989年～2010年の20年間。昭和が幕を閉じ、平成がスタートした時代だ。冷戦体制が終わり、グローバル化が始まるという変化に富んだ時代に日本で生まれた美術や日本から発信された表現が数多く展示される。会田誠、村上隆、奈良美智、クリスト、フランソワ・キュルレなど国内外の50を超えるアーティストの実践が検証されているのだ。国立新美術館と香港の西九龍文化地区にあるミュージアムM+による初の協働企画なのである。



椿昇《エスティック・ポリューション》
1990年 金沢21世紀美術館蔵
©TSUBAKI Noboru. 撮影：斎城卓
画像提供：金沢21世紀美術館



奈良美智《Agent Orange》2006年 個人蔵
©NARA Yoshitomo, 2025

本展では80年代初め以降をクローズアップしたプロローグ、続いて1989年以降の新しい批判性を持つ表現をイントロダクションで披露し、その後、全3章からなるテーマを通じて展開されている。



森万里子《巫女の祈り》1996年 作家蔵
©Mariko Mori, Courtesy of the Artist

第1章のテーマは「過去という亡霊」を掲げている。ここでは戦争、爆発のトラウマ、戦後問題への探求が繰り返される。続いて第2章では「自己と他者」とをテーマとし、自他との関わりの中でジェンダーや文化的アイデンティティを問いていく。最終となる第3章は「コミュニティの持つ未来」がテーマだ。すでに存在するコミュニティとの関わりや新たな関係性をつくりあげる可能性を探るプロジェクトが紹介されている。日本という場を国内外の様々な視点でとらえながら、様々な美術の表現を提示しているのが特徴だ。



小沢剛《ベジタブル・ウェボンさんまのつみれ鍋／東京》
2001年 国立国際美術館蔵
©Tsuyoshi Ozawa

原稿を書きながら、なにげなく自分自身の1989年～2010年という20年間を思い出してみた。子供時代を経て大学生…そして社会人になり大人へと変化していった時だ。毎日、いろいろなことに笑ったり、体験したり、考えたり…振り返ることで今の自分の形成過程が見えてきた気がした。時代の流れを感じられるこの展覧会はこれまでの自分史と照らし合わせながら拝観することでうける印象も変わってきそうだ。



高嶺格《God Bless America》2002年
ビデオ・インスタレーション
8分18秒 東京国立近代美術館蔵
©Tadasu Takamine



森村泰昌《肖像(双子)》1989年
所蔵：森美術館、東京
©MORIMURA Yasumasa.
展覧撮影：武藤滋生

展覧会名：時代のプリズム：日本で生まれた美術表現1989～2010

会 期：2025年9月3日(水)～2025年12月8日(月)

休 館 日：毎週火曜日

＊ただし9月23日(火・祝)は開館、9月24日(水)は休館

会 場：国立新美術館 企画展示室1E

ウェブサイト：https://www.nact.jp/exhibition_special/2025/JCAW/



魅力探訪

【 よーじや 北千住マルイ店 】



京都に旅行したら思わず買ってしまうアイテムといえば…
“よーじや あぶらとり紙！”という人も多いのではないだろうか。
実は私自身もそうであり、過去にはあぶらとり紙、ハンカチを購入し、帰宅後も京都旅の余韻を楽しんでいた記憶がある。そんな“よーじや”が2020年頃から「脱・観光依存」をかけた、日常的に愛されるブランドとして発信してきた。そして2025年3月にブランドロゴを刷新するなどのリブランディングを発表したのだ。
その内容は「みんなが喜ぶ京都にする」をスローガンとしており、「おみやげの店から、おなじみの店へ。」を目指して現在、躍進中なのである。

取材は「脱・観光依存」を掲げてから関東で初となる、よーじや 北千住マルイ店へ伺った。北千住駅より徒歩3分。駅からのペDESTリアンデッキを歩くとマルイ2F正面入り口へとたどり着く。そのまま店内に入るとよーじやの店舗がみえてくる。

ピンク色のワンピースを着た女の子が目に入る。リブランディングの際に誕生したというコーポレートキャラクター、手鏡から飛び出してきた“よじこ”だ。ゆっくりと観察すると店内の様々な箇所によじこがいることに気がつく。取材をしているうちになんとなく身近な存在になってきた。



北千住マルイ店



清水産寧坂店(京都府)



おなじみのあぶらとり紙のコーナーへ自然と足が向いていく。
おや、コチラは!?… おしろい紙??…

おしろい紙とは、あぶらとり紙とは別物であり、化粧崩れが気になった際に肌にそっとおさえるだけで簡単にお化粧直しができるというアイテムらしい。微粒子パウダーが紙についているとの事で、早速try！してみた。夏の気温が真っ只中のこの日、すでに化粧崩れしていた鼻まわりにそっとおしろい紙をあててみるとほんのりとパウダーが皮膚にのり、テカテカ鼻が落ち着きを取り戻した。

おすすめは、あぶらとり紙で皮脂を取り除いた後におしろい紙を使用するのが効果的とのことだ。ふむふむ…メイクポーチに1つあると便利そうだ。



素肌の呼吸がととのう感じ。su-ha（すーは）は低刺激&シンプル設計のフェイシャルケアブランドだ。美容液、メイク落とし、洗顔料、化粧水、乳液というラインナップだ。パンフレットに記載された『特別なルールはありません。いまの肌望みにフィットするアイテムを選ぶだけ。』という言葉にやんわりとほっとした気分になった。

また、8月1日より限定発売されている「ギンモクセイ」シリーズにも注目したい。

ギンモクセイとは9月～10月頃に白い花を咲かせる常緑樹。キンモクセイに比べるとやわらかくほのかな香りが特徴的だ。ギンモクセイシリーズは、ハンドクリーム、マルチボディオイル、オードトワレに加え、ねり香水が新登場している。

「ギンモクセイ ねり香水」は、銀木犀の香りを保ちながらベルガモットやジャスミン、ムスクの香りがやさしく移り変わるといふ。コンパクトなサイズ感は常に持ち歩きのアイテムとして活躍しそうである。



「おみやげの店から、おなじみの店へ。」北千住マルイ店では、よーじやが目指している姿を十分に感じることができた。1つ1つのアイテムから独自性を感じ、コーポレートキャラクター「よじこ」デザインの文房具や雑貨アイテムをはじめ、オリジナリティある商品はキュートな魅力につつまれている。取材後、個人的にボディアイテムを購入したのもここだけの話としよう。（夏のお風呂上りのケアとして大活躍中である！）



よーじや

<https://www.yojiya.co.jp/>

北千住マルイ店

営業時間 10:00～20:00 不定休（北千住マルイに準ずる）

東京都足立区千住3丁目92ミルディス1番館2階



500pt Present!

新規会員登録者さま全員に500ポイント進呈中！お買い物時に1ポイント＝1円としてご使用いただけます。

Pick up

ピックアップ商品

Multi Palette

→IBFオリジナル 36 colors palette

NYMA、IBF加盟校でも教材として採用されている36色入りのフェイスカラーパレットです。

アイシャドウ30色チーク6色で構成されており、ナチュラルメイクからクリエイティブメイクまで使用用途を限定せずマルチに使えるパレット。

発色もよく、コンパクトなので撮影などヘアメイク現場でもとても重宝します。

IBF以外では購入することができない商品です。

※IBF国際メイクアップアーティスト推奨教材です。



←IBFオリジナル 21 colors

【Basic palette】 【Earth Color palette】

アイシャドウ15色、チーク6色のセットは、ベーシックなカラーとポップなカラーをセットし、ナチュラルメイクにもクリエイティブメイクにも対応した【Basic palette】

どの世代でもマッチするアースカラーをセット。アイシャドウ15色、チーク6色のセットは、ブラウン系のとても使いやすい色をチョイスしています。

季節、年代、シチュエーションを問わずマルチに使用できる【Earth Color palette】。

コンパクトで持ち運びやすいパレットです。

※IBFメイクアップビューティセラピー講座推奨教材です。



Original Palette



User Guide

ご利用案内



旧ショップ登録者でパスワード再設定が済んでいない方は会員情報・ポイントの引継ぎができますので、
<https://www.makeshop.jp/ssl/login/reminder.html?db=ibfshop>
こちらのURLまたはQRコードから旧ショップ登録時のメールアドレスでパスワードの再設定をしてください。
※旧ショップで登録していて、登録時のメールアドレスが不明の方は customer@ibf-shop.com までお問合せください。



新規会員登録



IBF正会員、NYMA受講生であっても、ショップには別途会員登録が必要です。
ショップ会員限定のクーポンなどお得なメルマガ配信もございますのでぜひご登録ください。

ご購入の流れ

会員価格でのお買い物にはログインが必須となります。
IBFビューティプロショップへの会員登録をお済ませの上ご利用ください。
※ログインせずお買い物した場合は通常価格での提供となります。

PCからの場合



スマホからの場合





Makeup:Chiaki Kakinuma
Model:Disnella-Click Model Management
Photo:Linda Mason